

静岡大学附属図書館概要



OUTLINE of Shizuoka University Library



浜松分館



2017

静岡大学附属図書館概要 2017

目 次

図書館長挨拶	1
静岡大学附属図書館のいま ～平成28年度活動状況～	2
館内案内	4
1. 平面図	
2. 主要室面積及び座席数	
情報システム	8
1. 情報システムの概要	
2. 電子資料等	
主要コレクション	10
1. 大型コレクション	
2. 特殊コレクション	
3. その他の主要コレクション	
資料統計	12
1. 受入数	
2. 蔵書数	
3. 視聴覚資料数	
4. 分類別蔵書冊数	
5. 図書館経費	
学術リポジトリ	13
1. 資源タイプ別コンテンツ数	
利用統計	14
1. 開館日数等	
2. 入館者数	
3. 館外貸出冊数	
4. ILL 文献複写件数	
5. ILL 現物貸借冊数	
6. セミナー参加人数	
刊行物等	16
1. 冊子体目録	
2. 定期刊行物・その他	
組織機構	17
1. 機構図・職員配置	
2. 附属図書館委員会委員	
沿革	18
1. 略年史	
2. 歴代館長・分館長	
交通案内／図書館位置図	22
浜松分館長挨拶	24

はじめに

附属図書館長
澤 田 均



静岡大学附属図書館は、静岡大学の使命を支える重要な学術情報基盤として、4つの領域（学術情報資源整備、学習支援、研究支援、社会連携）について積極的に機能することを目指しています。この目標を達成するために、多様な事業を計画し、実施してまいりました。この『静岡大学附属図書館概要2017』は、附属図書館の現状とこれらの事業の内容を分かりやすくまとめたものです。

2017年度、附属図書館では主に、①多様な学びを支援する環境を整備するため、附属図書館浜松分館の改築・改修工事を進めること、②本学の研究成果を発信するリポジトリシステムへの登録を促進するため、教員への周知活動を継続するとともに、オープンサイエンス時代に即したリポジトリ登録方針の検討を行うこと、2016年度の調査結果をもとに、本学リポジトリシステムをJAIRO Cloudへ移行し、改善を図ることを計画しています。

附属図書館浜松分館では、2014年度に完了した大規模改修（第1期工事）に引き続き、2016年度補正予算により、待望の第2期工事を開始いたしました。2018年6月（予定）のオープンに向け、学習環境の整備を含む諸準備を進めているところです。一方、学術リポジトリについては、2017年度中に国立情報学研究所による新しいシステム（JAIRO Cloud）に円滑に移行できるよう、準備を進めています。電子リソースについては、本学にとっても難問ですが、必要不可欠な電子リソースの安定的な確保に向け、最良の整備プランを策定しているところです。

現在、静岡大学では2つの大きな取組みを進めています。第1は留学生、日本人を対象とした人材育成プログラム「アジアブリッジプログラム（ABP）」、第2は文部科学省より選定された、「地（知）の拠点大学による地方創生推進事業（COC+）」です。静岡大学附属図書館は、これらの取組みをしっかりと支援してまいります。今後とも、皆様のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成29年 7 月

静岡大学附属図書館のいま ～平成28年度活動状況～

静岡大学附属図書館の使命

静岡大学附属図書館は、静岡大学の使命を支える学術情報基盤として、「*Tolle lege*（手に取って読みなさい）」の精神のもと、積極的に機能することを目指します。

Tolle lege.

手に取って読みなさい

学術情報資源整備	学 習 支 援	研 究 支 援	社 会 連 携
大学改革、教育・学習・研究のニーズに合った資料を選定し、収集・整理・保存・提供します。蔵書や電子リソース等の利用促進および蔵書スペースの有効利用に努めます。	学生の能動的学習を含めた学習全般を支援するため、館内の学習環境の整備に努めるとともに、学内教員・組織、他大学図書館と協力して情報リテラシー教育を推進します。	本学学術リポジトリを充実させ、学内研究者の研究成果を保存するとともに世界に発信します。また、研究に必要な文献や情報の提供に努めます。	地域社会との交流や国内外の組織との協力を積極的に進め、知の交流点として社会に貢献します。図書館の活動を社会に発信します。

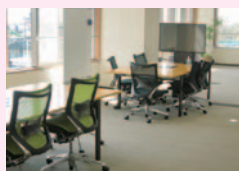
学習支援

◆学習支援のための施設・設備の提供

図書館の持つ資料とデジタル情報・資料を活用しながら、グループで議論する等、自主的な学習をすることができる場として、ハーベストルーム（本館）、グループワークエリア、Graduates' Hub（浜松分館）等を設けています。また、浜松分館では集密書架を新たに設置したほか、平成29年3月に旧館改築・改修工事が始まり、より良い学習環境の整備を行なっています。



ハーベストルーム（本館）



Graduates' Hub（浜松分館）



グループワークエリア（浜松分館）

◆図書館利用セミナーの実施等

図書館利用セミナー（授業単元85回）や、CiNii講習会、英語による講習会を含むセミナー等を計99回実施し、のべ2,960名が参加しました。また、授業（図書館概論）の1コマに協力し、図書の整理業務について担当しました。



セミナーの様子

◆大学教育センターとの連携

学習サポートの相談窓口（チューターズフロント）が本館、浜松分館あわせて61日開設され、これに協力しました。

学術情報資源整備

◆電子リソースの整備

電子リソース検討委員会、企画戦略会議において平成29年度の共通経費での電子リソース購入方針を審議・決定し、本学における電子リソース（電子ジャーナル・データベース）の整備を図りました。

◆図書館システムリプレイス

蔵書検索の機能強化、反応速度の向上等、利用者がより使いやすいシステムとなることを目指し、図書館システムを平成29年2月に更新しました。

研究支援

◆学術リポジトリ

リポジトリへの登録を推進するため、学内に対する広報を行い、平成28年度末には収録文献は8,918件となりました。

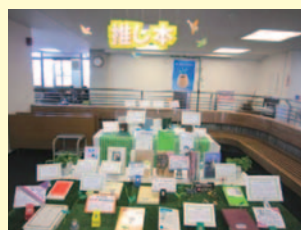
また、国際標準の論文識別番号DOIを、引き続き紀要論文、学位論文に付与しています。

社会連携

◆「推し本！」展示

北海道大学、小樽商科大学、帯広畜産大学など、複数の図書館が連携した「推し本！」プロジェクトの一環として、2月から4月にかけて、各大学の教職員から集めた推薦図書と推薦文を共有・利用し、本館・浜松分館で展示しました。

学生の自己理解やキャリア観の育成に役立つ図書の展示を行ったところ、瞬く間に借り出されました。



静岡本館での展示



浜松分館での展示

学生協働の推進

附属図書館利用学生モニターとして、本館7名、浜松分館10名の学生が、附属図書館職員と協働し、様々な活動を行いました。

●選書とポップ作成講座

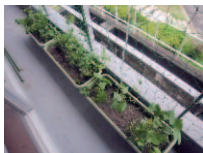
書店で実際に本を手に取りながら、学生が図書館に置きたい本を選びました。また、POP作成の実演講座を図書館職員が開催し、学生モニターにPOP作成のコツを教えました。

実際に選書された本に、作成したPOPを添えて展示したところ大人気。すぐにほぼ貸出状態になりました。



●緑のカーテン

夏の日差しを少しでも和らげるため、みんなで苗植えをし、緑のカーテンを作りました。ゴーヤ、風船かずら、朝顔が元気に育ちました。



●七夕飾り

学生モニターと図書館職員が、電子工学研究所横の竹林から竹を切り出し、ギャラリーに設置。これに七夕の飾りつけをしました。たくさんの学生が短冊に願い事などを書いて飾りました。



●モニター会議

館長、分館長が主催し、学生モニターと、館長又は分館長、図書館職員が静大図書館について意見交換をしました。

学生モニターからは、日頃どのように図書館を活用しているかの紹介や、学生用図書の選定についての要望、浜松分館では図書館改築・改修に関する事など、多くの意見が出されました。



本館モニター会議



浜松分館モニター会議

浜松分館改築・改修

浜松分館旧館の改築・改修工事が平成29年3月中旬に始まり、平成30年3月末に竣工予定、6月の新館オープンを目指しています。

新館には、2つのグループ学習室と4つの個人ブース等を設置し、多様な学びを支援する環境を整備する予定です。



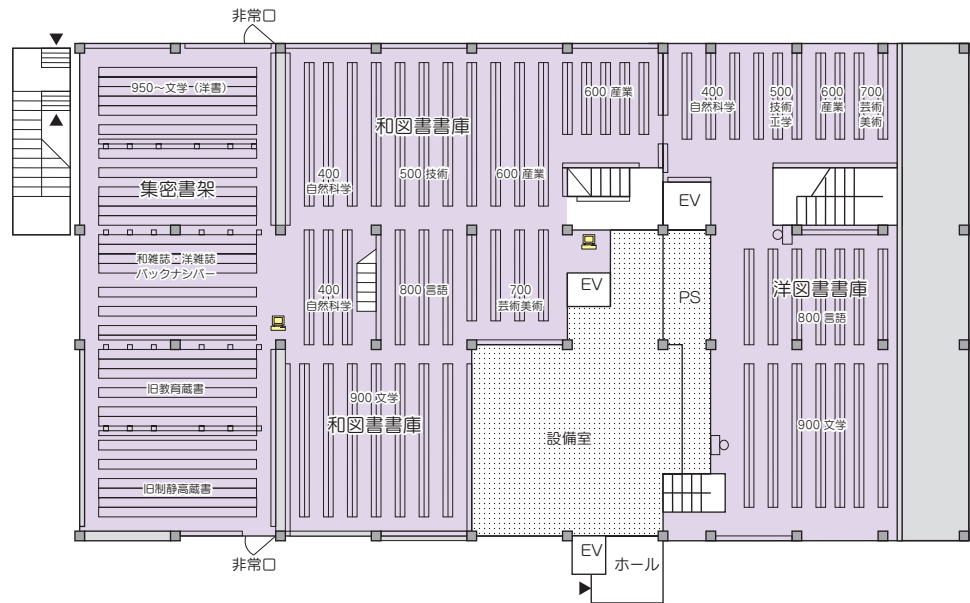


館内案内

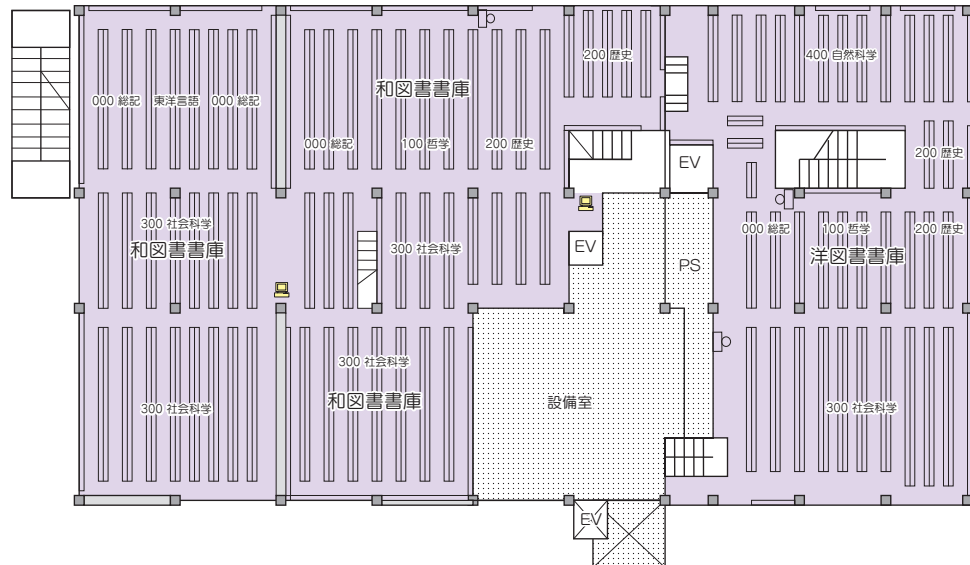
1. 平面図

◆ 本館

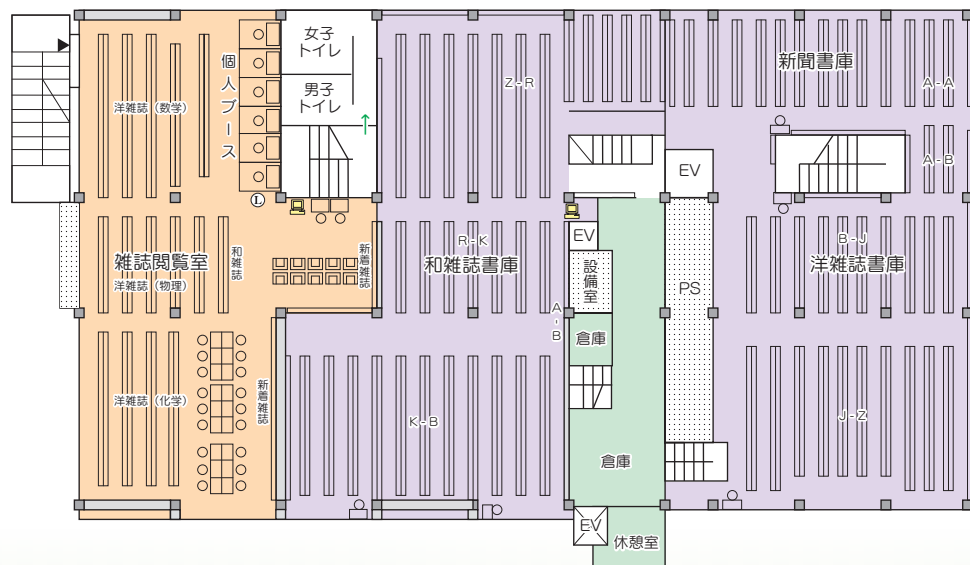
1 階



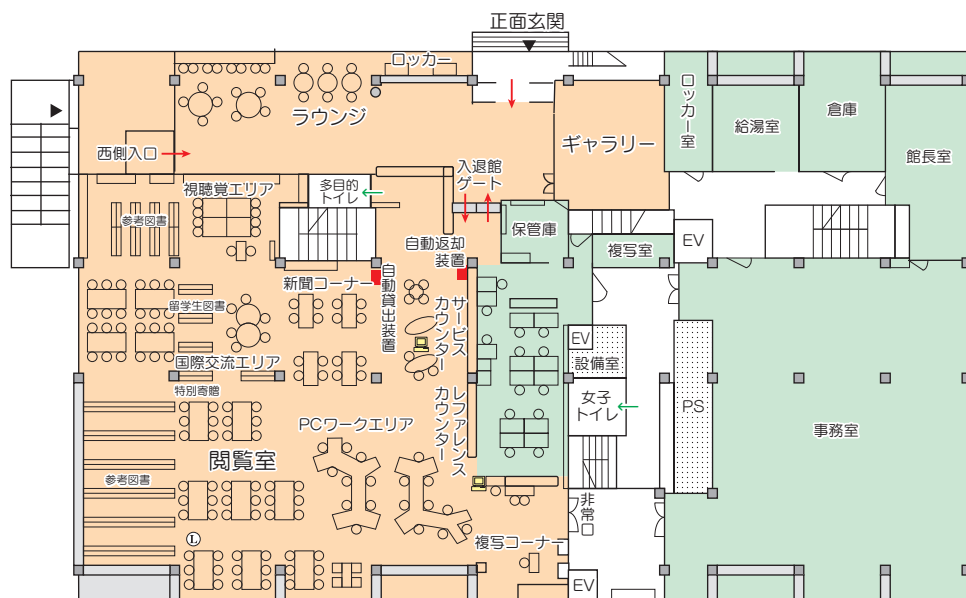
2 階



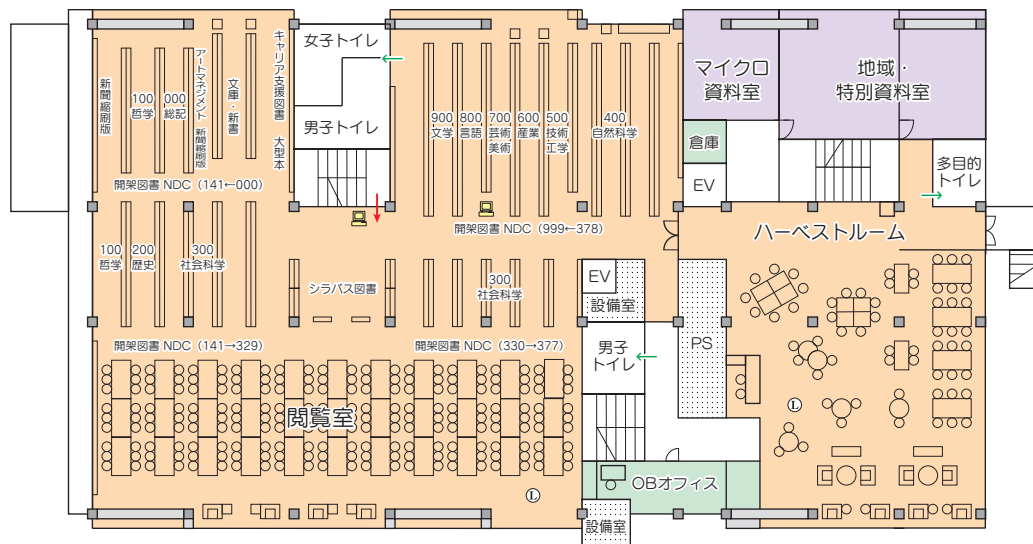
3 階



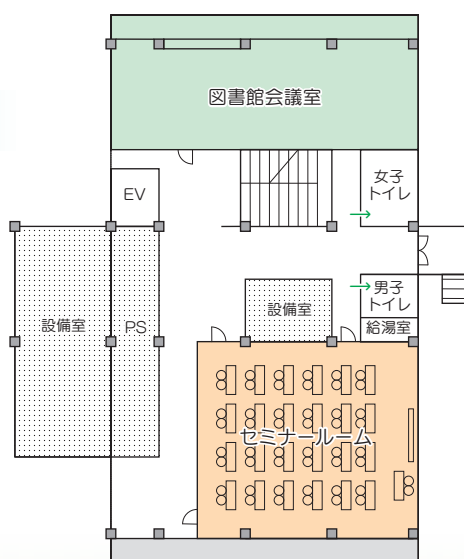
4 階



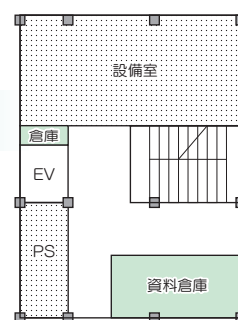
5 階



6 階



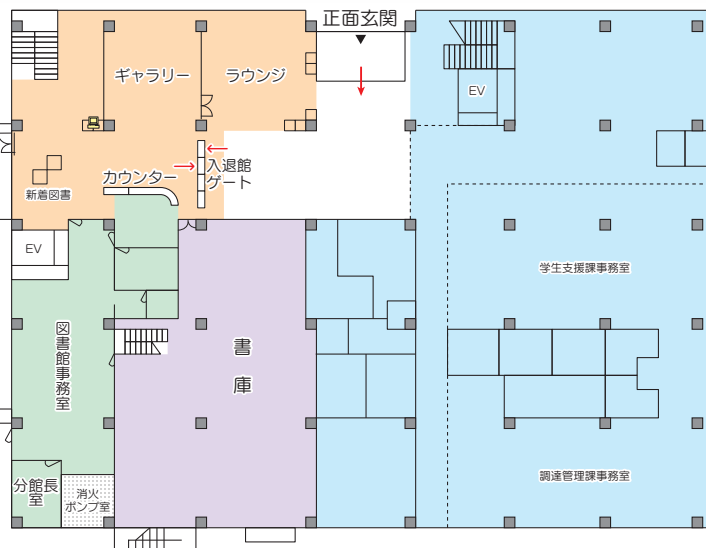
7 階



- 書庫エリア
- 閲覧エリア
- 事務エリア
- 検索用パソコン
- 情報コンセント

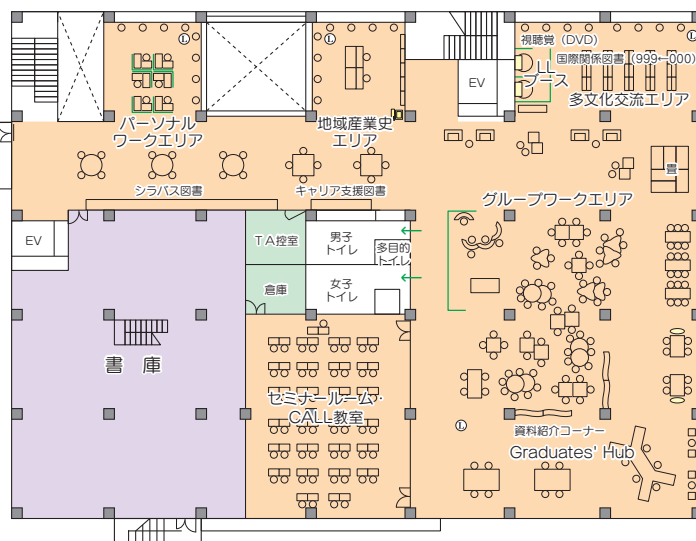
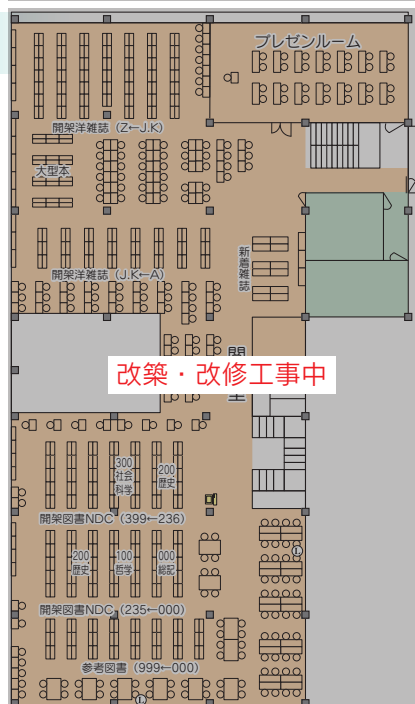
◆ 浜松分館

1 階



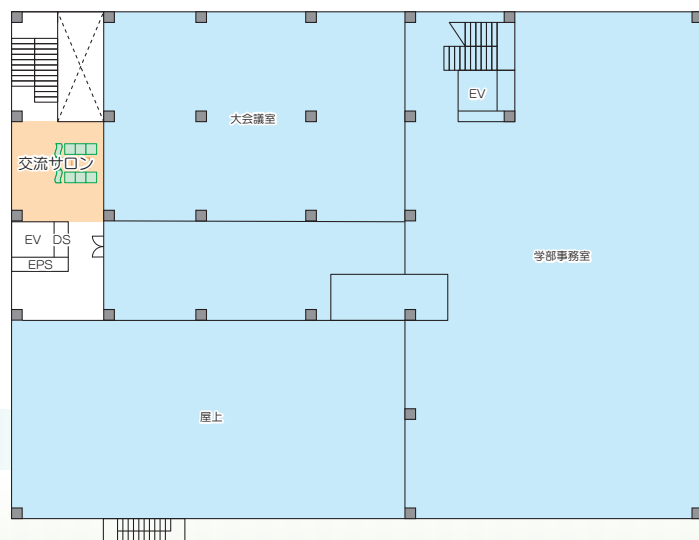
は、学部事務エリア

2 階



※旧館は改築・改修工事中
(平成30年6月新館オープン予定)

3 階



は、学部事務エリア

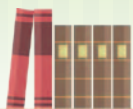
2. 主要室面積及び座席数

	階 数	室 名	面 積	座 席 数	備 考
本 館	1 階 1,380㎡	書庫 その他	1,054㎡ 326	2席	一部集密書架
	2 階 1,305㎡	書庫 その他	1,192 113	3	
	3 階 1,495㎡	書庫 雑誌閲覧室 個人ブース 印刷室等 その他	839 334 24 57 241	6 28 6	
	4 階 1,533㎡	開架閲覧室 ラウンジ 複写室 カウンター ギャラリー 館長室 事務室 その他	546 103 13 84 44 49 382 312	126 22 20	参考図書、新聞コーナー、PCワークエ リア、視聴覚エリア、国際交流エリア
	5 階 1,503㎡	開架閲覧室 ハーベストルーム 地域・特別資料室 マイクロ資料室 その他	821 244 95 30 313	202 68 1 2	開架図書
	6 階 563㎡	図書館会議室 セミナールーム その他	119 125 319	48	
	7 階 248㎡	書類庫等 その他	43 205		
	本館合計		8,027㎡	534席	書架延長 27,130m 収容可能冊数 753,625冊

浜 松 分 館	旧館 1 階 1,040㎡	開架閲覧室 新聞閲覧室 PCワークエリア その他	691㎡ 60 95 194	86席 7 22	閲覧室、開架図書、開架雑誌
	旧館 2 階 1,135㎡	開架閲覧室 プレゼンルーム その他	832 95 208	172 28	閲覧室、開架図書、参考図書、開架雑誌
	S-Port 1 階 830㎡	エントランス・ラウンジ ギャラリー 開架閲覧スペース 開架書庫 分館長室 図書館事務室 その他	164 54 102 258 18 107 127		集密書架
	S-Port 2 階 1,575㎡	グループワークエリア セミナールーム・CALL教室 開架書庫 その他	958 145 354 118	202 52	パーソナルワークエリア、地域産業史エリア、多 文化交流エリア、視聴覚エリア、Graduates' Hub 集密書架
	S-Port 3 階 123㎡	交流サロン その他	83 40	6	
	浜松分館 合 計		4,703㎡	575席	書架延長 14,622m 収容可能冊数 406,000冊

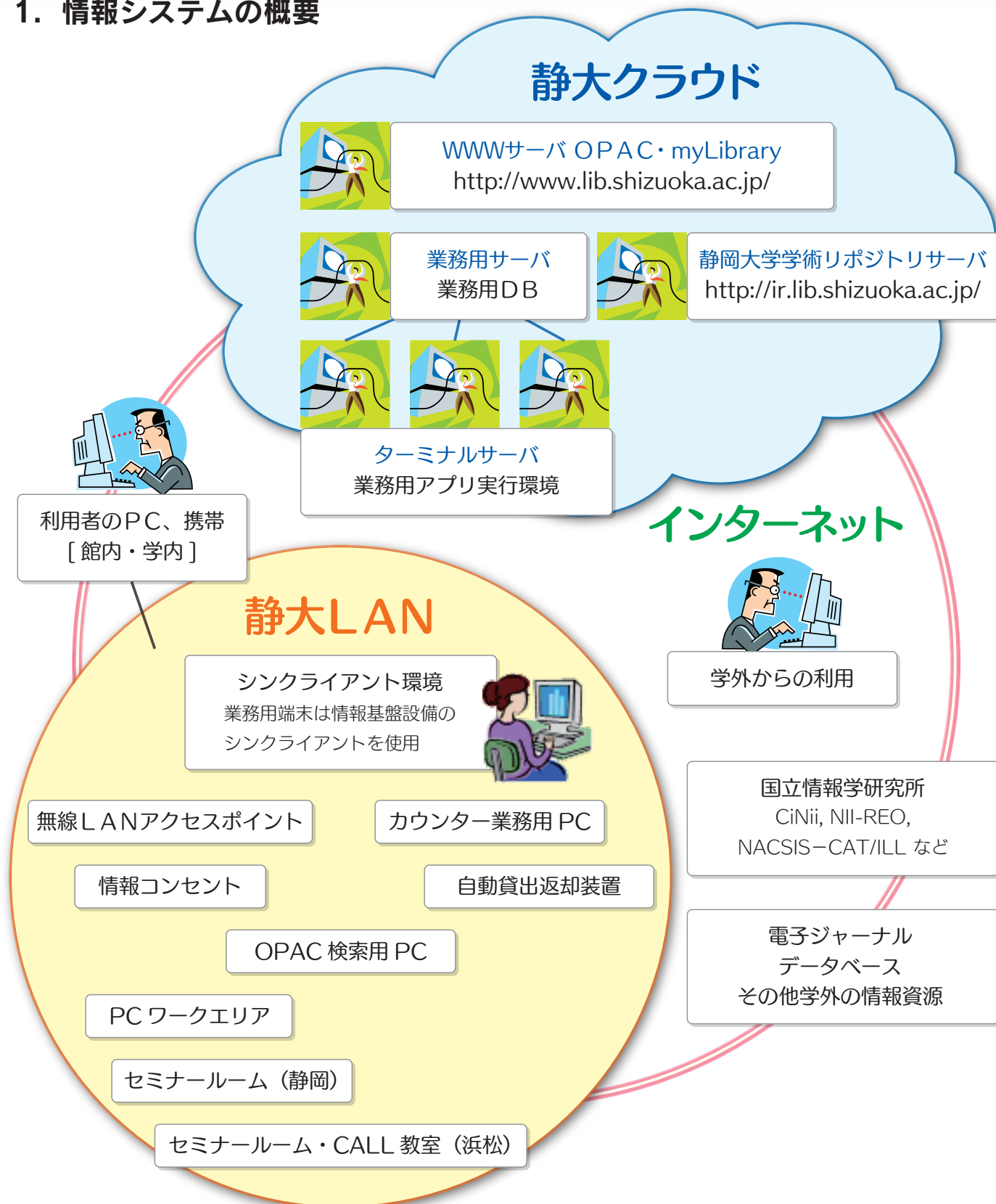
※浜松分館旧館は改築・改修工事中（平成30年6月新館オープン予定）

合 計	12,730㎡	1,109席	書架延長 41,752m 収容可能冊数 1,159,625冊
-----	---------	--------	-----------------------------------



情報システム

1. 情報システムの概要



情 報 端 末	本 館	浜松分館	計
利用者PC	23台	67台	90台
利用者用シンクライアント	68台	12台	80台
OPAC検索端末	14台	7台	21台

2. 電子資料等

○主要な電子ジャーナル

- Science Direct (エルゼビア社) ※フリーダムコレクション契約
利用タイトル数 2,288 (バックファイルは概ね1998年から利用可能)
- Wiley Online Library (ワイリー・ブラックウェル社)
利用タイトル数 1,388 (バックファイルは概ね1997年から利用可能)
- Springer Link (シュプリンガー社)
利用タイトル数 1,737 (バックファイル契約誌は創刊号から、その他は2000年から利用可能)
- American Chemical Society Full Package (アメリカ化学会)
利用タイトル数 50
- Nature (本誌、Nature Digest含む) 1987年～
- Science 1880年～
- JSTOR Arts & Sciences I Archive Collection (経済学、歴史学、政治学、社会学、言語学、教育学など
人文社会科学系のほか、環境学、数学、統計学 計179誌のアーカイブ)

○電子ブック

- Cambridge Books Online (購入タイトル153件)
- Emerald eBook Series (購入タイトル91件)
- ScienceDirect (購入タイトル74件)
* この他に購読モデルのMethods in Enzymology (82件) がある
- Springer Link eBooks (購入タイトル7,107件)
- Wiley Online Books (購入タイトル29件)
- Maruzen eBook Library (購入タイトル824件)
- Infobase Publishing Ebooks (購入タイトル246件)

○データベース (ネットワーク)

- CiNii (論文や図書・雑誌などの学術情報検索データベース)
- Web of Science (全分野における主要な学術雑誌の論文情報・引用関係データベース)
- Journal Citation Reports (主要学術雑誌評価データベース)
- MathSciNet (数学関係文献データベース)
- SciFinder (化学関係文献データベース)
- PsycINFO (心理学関係文献データベース)
- LexisNexis at lexis.com/Lexis Advance (国外法律情報文献データベース)
- TKCローライブラリー・ロースクール (国内判例関係文献データベース)
- LLI統合型法律情報システム <法科大学院・人文社会科学部および図書館のみ>
- bookplus (図書情報検索データベース)
- magazineplus (雑誌論文・記事検索データベース)
- 聞蔵II ^{キクゾウ} ビジュアル (朝日新聞記事データベース)
- ヨミダス歴史館 (読売新聞記事データベース)
- 静岡新聞データベース plus 日経テレコン (静岡新聞及び日本経済新聞記事データベース)
- 官報情報検索サービス
- JapanKnowledge Lib (「日本大百科全書」ほかのネット版)
- 日経BP記事検索サービス
- 化学書資料館 (日本化学会編集の図書全文検索および化合物検索データベース)
- JSA Library Server (JISの電子版) <浜松キャンパスのみ>



主要コレクション

1. 大型コレクション

文庫名	内 容	設 置 年
◆国際連盟刊行物資料	第一次大戦後設立された国際連盟は、国連の前身をさすもので、本館所蔵文書数は3,571点あり、公式記録、経済、金融、社会、法、委任統治、奴隷取締、政治、運輸交通、軍縮、財政、麻薬取締、文化協力、連盟事務局、一般、レファレンスの16部門に分類され、特に連盟総会の公式記録がほぼ揃っている。政治、経済、社会、教育等の戦間期研究にとって、この資料は不可欠であるとともにこれらの文書は、国立国会図書館が所蔵する連盟資料と相互補完をなしており、貴重な資料である。	昭和54年度
◆原家旧蔵江戸後期 芸文資料	静岡県駿東郡大平村（現沼津市）の旧家、原家に代々伝来された資料を購入したものである。 この資料は江戸後期を中心に明治期にまで及ぶ全451点1,281冊からなり、俳諧書を中心に、歌書、戯作類、絵画、地誌、仏教書、国学関係書、そして自然科学書をも含む、広い範囲にわたる貴重なコレクションである。日本文学、日本歴史の研究者をはじめ、多方面の研究者の利用が期待される。冊子目録「原家旧蔵江戸後期芸文資料目録」を作成。	昭和61年度
◆近現代ドイツ 資料コレクション	1-1. Statistik des Deutschen Reichs (Neue Folge), Bd.I-601, 1884-1944. 1-2. Statistisches Jahrbuch deutscher Gemeinden, Bd.I-70, 1890-1983. 1-3. Preußische Jahrbucher, Bd.I-240, 1858-1935. 2-1. Acta Borussica:Denkmaler der preußischen Staatsverwaltung im 18.Jahrhundert, 1892-1936 2-2. Jahresberichte der Gewerbe- Aufsichtsbeamten und Bergbehorden, 1876-1937/38. 2-3. Preußische Statistik, Bd.I-305, 1861-1933. 2-4. Schriften des Vereins fur Sozialpolitik (Alte Folge), Bd.I-188, 1873-1939. 3-1. Allgemeines Statistisches Archiv, Bd.I-55 1890-1967 3-2. Jahrbuch fur Gesetzgebung , Verwaltung und Rechtspflege, Bd.I-4, 1871-1876. 3-3. Schmollers Jahrbuch fur Gesetzgebung , Verwaltung und Volkswirtschaft , Bd.I-68, 1877-1944 3-4. Schriften des Vereins fur Sozialpolitik (Neue Folge), Bd.I-220, 1949-1993. 3-5. Zeischrift fur die gesamte Staatswissenschaft, Bd.I-85 1844- 近現代ドイツの経済、政治、社会、文化を研究するための基礎資料であり、基本的な数量的データを得ることができる。 なお、下記2点が本学特別経費で購入され、所蔵されている。 1. Statistik des Deutschen Reichs (Alte Folge), Bd.I-63, 1873-1883. 2. Statistisches Jahrbuch fur das Deutsche Reich, Bd.I-59, 1880-1941/42.	昭和62年度、 平成2年度及び 平成5年度
◆Le Monde, Dec.1944-Dec.1983 (microfilm)	1944年にパリで創刊された新聞、世界のエリート紙の代表格である。特定の政党や資本に左右されない自主独立の体制、卓越した解説と分析、冷静かつ公平な報道に由来するもので、国際情勢に関してかなりの重点が置かれている。	昭和59年度

文 庫 名	内 容	設 置 年
◆Landolt-Bornstein Numerical Data [ランドルト・ベルン シュタイン定数表]	本定数表は、素粒子、原子核の分野から原子・分子、結晶などの構造や物性、溶液化学、工業化学、地球鉱物までを含む、科学・技術に関する膨大な実験データ集である。特に既刊行（1994年現在）のうち物性分野は充実している。	本館既蔵書分に 平成7年度補強
◆欧米比較政治学 基本資料集成	1. American Journal of Political Science. Vols. 1-39 (1957-1995) 2. Comparative Political Studies. (C.P.S) Vols. 1-29 (1968/69-1996) 3. Comparative Politics. Vols. 1-29 (1968/69-1996/97) 4. European Journal of Political Research. Vols. 1-28 (1973-1995) 5. Journal of Public Policy. Vols. 1-12 (1981-1992) 6. Journal of Politics. Vols. 1-58 (1939-1996) 7. World Politics. Vols. 1-49 (1948/49-1995/96) 今日では古典となりつつある比較政治学上の画期的で重要な論文・寄稿・記事等を所収した主要誌を体系的に蒐集・集成したものである。	平成11年度

2. 特殊コレクション

文 庫 名	内 容	設 置 年
◆河井文庫 明治、大正期の 新聞コレクション	自由民権期では、「静岡新聞」「静岡大務新聞」が断片的に収蔵されているほか、東京の「朝野新聞」がかなりある。明治後期の「静岡新報」、明治後期から大正末期までの「静岡民友新聞」がこの文庫の圧巻である。さらに同じ時期の「報知新聞」「東京朝日新聞」「万朝報」「東京日々新聞」等の静岡版を有している。これらの新聞は地域研究には不可欠な資料である。「静岡民友新聞」と「静岡新報」はマイクロフィルム版を作成。冊子目録「河井家寄贈新聞目録」を作成。	掛川の河井家当 主重友氏のご好 意により1957年 に当館に寄贈

3. その他の主要コレクション

◆鈴木安蔵氏資料

[本学文理学部長を務めた憲法学者鈴木安蔵のスクラップブックなど]

◆United States decennial census publications、1790-1970 (microfilm)

[アメリカ国税調査報告書 第1～19回]

◆All U.S. Department of Agriculture publications (microfiche)

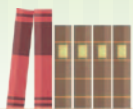
[アメリカ農務省全出版物]

◆Social and economic development plans、except for Africa (microfiche)

[世界各国の社会経済開発計画資料集]

◆Aetas Kantiana (reprint ed.)

[カント時代哲学書復刻シリーズ]



資料統計

1. 受入数

平成28年度（平成29年3月31日現在）

区分	図書				雑誌			
	和書	洋書	計	前年度計	和雑誌	洋雑誌	計	前年度計
本館	6,327	591	6,918	7,409	1,325	216	1,541	1,442
浜松分館	3,237	314	3,551	4,565	275	38	313	391
合計	9,564	905	10,469	11,974	1,600	254	1,854	1,833

2. 蔵書数

平成28年度（平成29年3月31日現在）

区分	図書				雑誌			
	和書	洋書	計	前年度計	和雑誌	洋雑誌	計	前年度計
本館	656,044	251,065	907,109	908,336	11,638	4,644	16,282	16,156
浜松分館	196,278	98,327	294,605	291,237	2,309	1,892	4,201	4,106
合計	852,322	349,392	1,201,714	1,199,573	13,947	6,536	20,483	20,262

3. 視聴覚資料数

平成28年度（平成29年3月31日現在）

区分	マイクロフィルム	マイクロフィッシュ	ビデオテープ	CD-ROM	CD/LD	DVD	その他	計	前年度計
本館	3,993	6,287	453	406	406	848	196	12,589	12,809
浜松分館	200	0	442	138	176	699	24	1,679	1,672
合計	4,193	6,287	895	544	582	1,547	220	14,268	14,481

4. 分類別蔵書冊数

平成28年度（平成29年3月31日現在）

区分	本館			浜松分館			合計	前年度計
	和書	洋書	計	和書	洋書	計		
0 総記	53,614	8,982	62,596	14,703	4,239	18,942	81,538	81,326
1 哲学	36,130	19,770	55,900	10,328	1,107	11,435	67,335	67,135
2 歴史	81,027	12,828	93,855	8,743	585	9,328	103,183	103,075
3 社会科学	212,247	72,837	285,084	26,734	844	27,578	312,662	311,232
4 自然科学	75,620	60,250	135,870	50,582	52,491	103,073	238,943	239,055
5 技術	33,776	5,135	38,911	56,132	30,984	87,116	126,027	126,067
6 産業	42,237	8,059	50,296	2,778	158	2,936	53,232	53,167
7 芸術	28,389	4,562	32,951	5,974	419	6,393	39,344	39,215
8 語学	24,764	15,891	40,655	8,905	3,832	12,737	53,392	52,985
9 文学	68,240	42,751	110,991	11,399	3,668	15,067	126,058	126,316
合計	656,044	251,065	907,109	196,278	98,327	294,605	1,201,714	1,199,573

5. 図書館経費

◇平成28年度 運営関係経費	72,625千円	（前年度	75,560千円）
◇平成28年度 図書館備付資料費	144,917千円	（前年度	151,438千円）
◇平成28年度 その他の経費	30,166千円	（前年度	37,132千円）



学術リポジトリ

1. 資源タイプ別コンテンツ数

(平成29年3月31日現在)

区 分	日本語	外国語	計	前年度末計
Journal Article (学術雑誌論文)	1,396	1,134	2,530	2,469
Thesis or Dissertation (学位論文)	384	179	563	514
Departmental Bulletin Paper (紀要論文)	4,028	208	4,236	3,926
Conference Paper (会議発表論文)	6	5	11	11
Presentation (会議発表用資料)	4	0	4	3
Book (図書)	51	15	66	59
Technical Report (テクニカルレポート)	233	0	233	188
Research Paper (研究報告書)	816	7	823	691
Article (一般雑誌記事)	35	0	35	34
Preprint (プレプリント)	0	1	1	1
Learning Material (教材)	9	2	11	10
Data or Dataset (データ・データベース)	1	0	1	0
Software (ソフトウェア)	0	0	0	0
Others (その他)	343	61	404	404
合 計	7,306	1,612	8,918	8,310

静岡大学紀要は静岡大学学術リポジトリでご覧いただけます

静岡大学学術リポジトリでは、静岡大学の教育研究活動により創出された学術成果等を後世に継承するため収集・保存し、さらに学術研究の発展に貢献するため、学内外に発信・提供しています。

その一環として、大学内刊行物の公開も重点的に行っており、現在刊行中の静岡大学紀要全タイトルの約7割は、原則的に全掲載論文をリポジトリで公開中です。それ以外の紀要も、個別に許諾を得た論文について、公開を行っています。

公開している論文は、検索エンジンやCiNii Articlesで検索可能です。





利用統計

1. 開館日数等

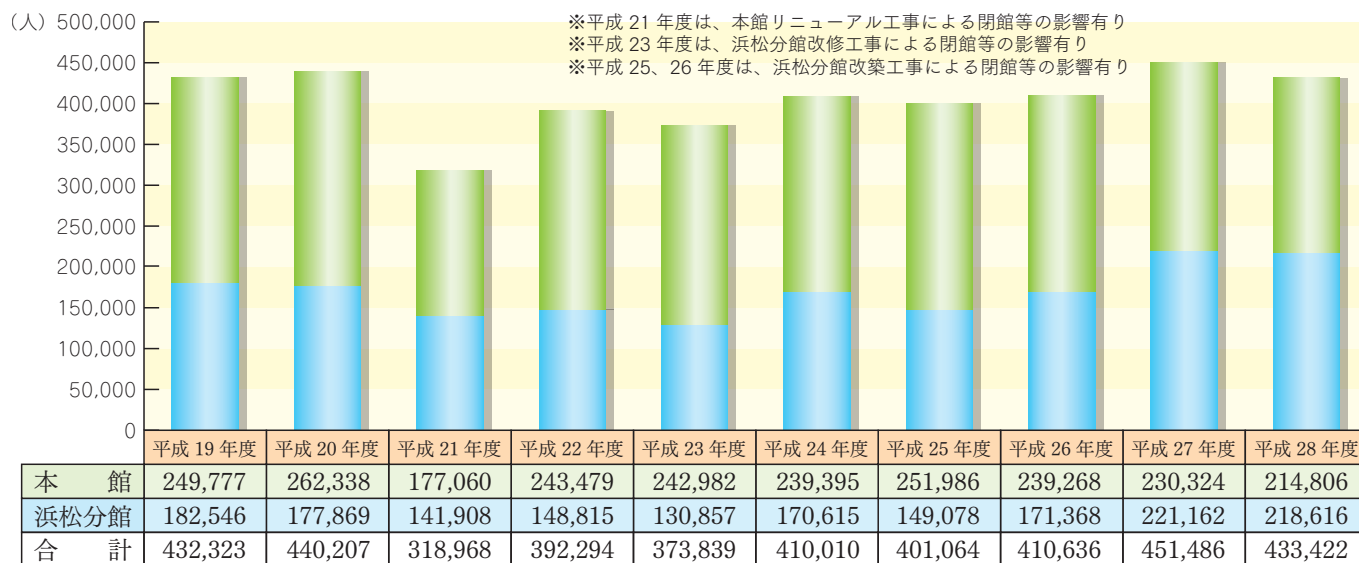
(平成28年度)

(単位：日)

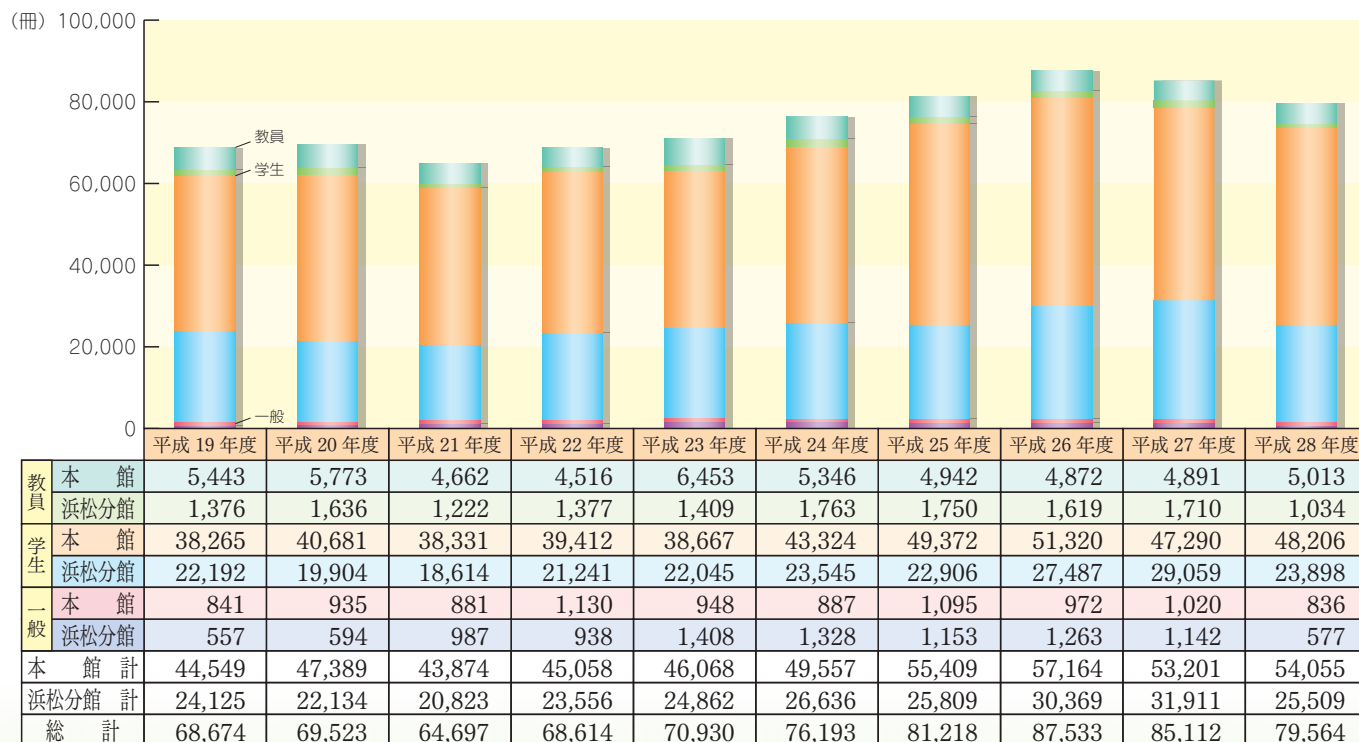
(単位：時間)

区 分	年間開館日数			年間時間外開館時間数		
	平日	土／日・祝	総日数	平日	土／日・祝	総時間数
本 館	231	108	339	870	964	1,834
浜 松 分 館	231	108	339	870	961	1,831

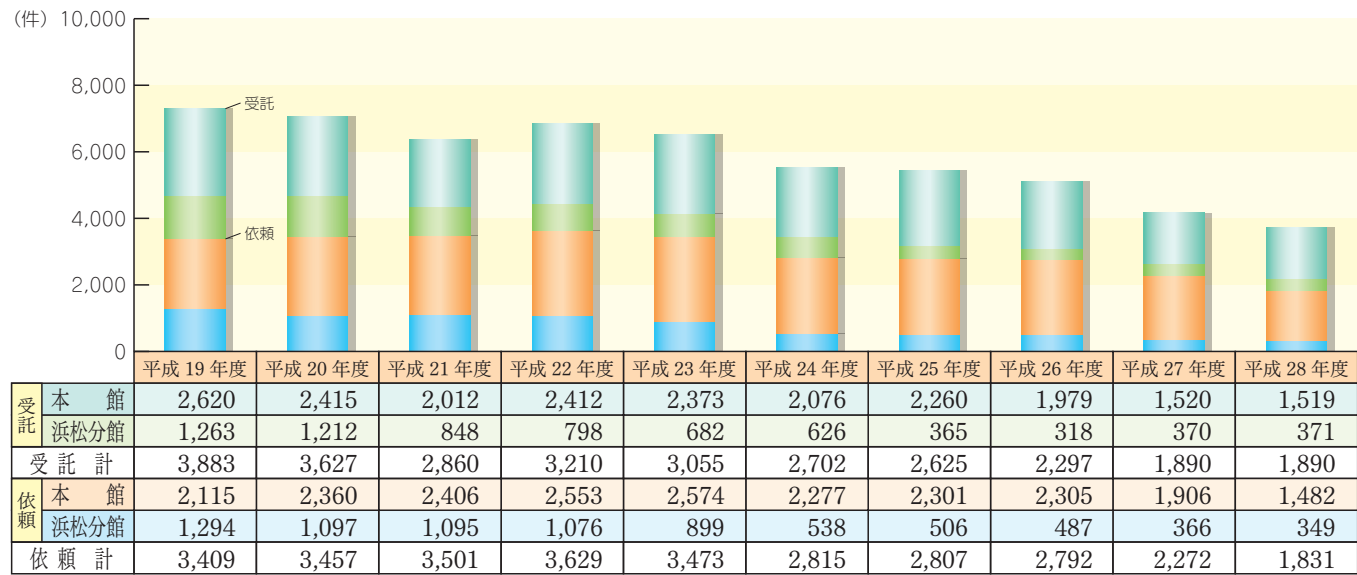
2. 入館者数



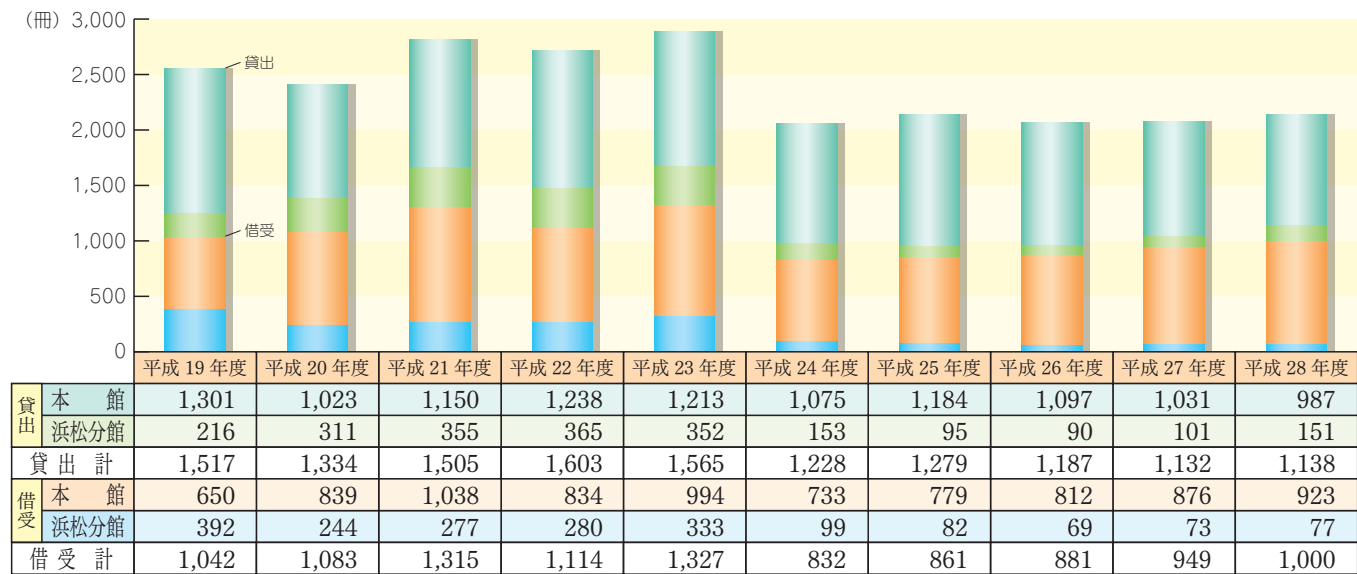
3. 館外貸出冊数



4. ILL（図書館間相互協力）文献複写件数

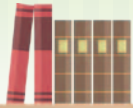


5. ILL（図書館間相互協力）現物貸借冊数



6. セミナー参加人数

		平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度	
		回数	参加人数	回数	参加人数	回数	参加人数	回数	参加人数	回数	参加人数
本館	図書館利用セミナー（ベーシック編）	43	1,195	44	1,219	42	1,245	41	1,221	40	1,182
	図書館利用セミナー（ベーシック編） 大学院生向け	2	20	4	60	3	49	3	52	2	54
	図書館利用セミナー（アドバンス編）	33	681	29	611	30	694	28	689	29	663
	データベース講習会	7	104	5	69	4	61	7	138	8	215
浜松分館	図書館利用セミナー（ベーシック編）	27	741	31	728	13	744	15	732	16	792
	図書館利用セミナー（アドバンス編）	3	110	1	8	—	—	—	—	—	—
	データベース講習会	4	94	3	62	3	56	6	67	4	54



刊 行 物 等

1. 冊子体目録 ※Webでも公開しています。

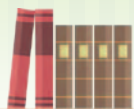
河井家寄贈新聞目録	1975年
宇山文庫目録（英米文学関係資料）	1977年
大場秋雄氏寄贈エスペラント語関係資料目録	1977年
花岡文庫目録（主に民族学関係）	1977年
国際連盟刊行物資料目録 1920年～1946年	1980年
旧制静岡高等学校蔵書と漢書書名リスト	1982年
静岡地方裁判所掛川支部寄贈図書目録（明治期刊行法律書）	1986年
小此本文庫目録（政治史・国際政治関係）	1987年
原家旧蔵江戸後期芸文資料目録	1988年
坂藤英隆氏寄贈目録（中国語刊中国文学）	1988年
黒羽文庫目録（日本近代史関係資料）	1990年
手塚弘保文庫目録（ロシア語による人文科学関係資料）	1993年
河内清文庫目録（フランス自然主義文学関係資料）	1995年
白石信明文庫目録（法律関係専門図書）	1995年
田中敬一文庫寄贈図書目録（フランス文学）	2000年
小澤康彦文庫目録（英文学関係資料）	2001年
五井直弘文庫目録（東洋史関係資料）	2002年

2. 定期刊行物・その他

図書館通信（年刊）	1970年～
利用のてびき（年刊）	1974年～2005年
Library Navigator（りぶ★なび）（年刊）	2006年～
静岡大学附属図書館概要（年刊）	1979年～
としょかんニュース（随時）	1997年～2007年
静大図書館 NewsLetter（随時）	2007年～
附属図書館利用マニュアル（教員用）（年刊）	2002年～

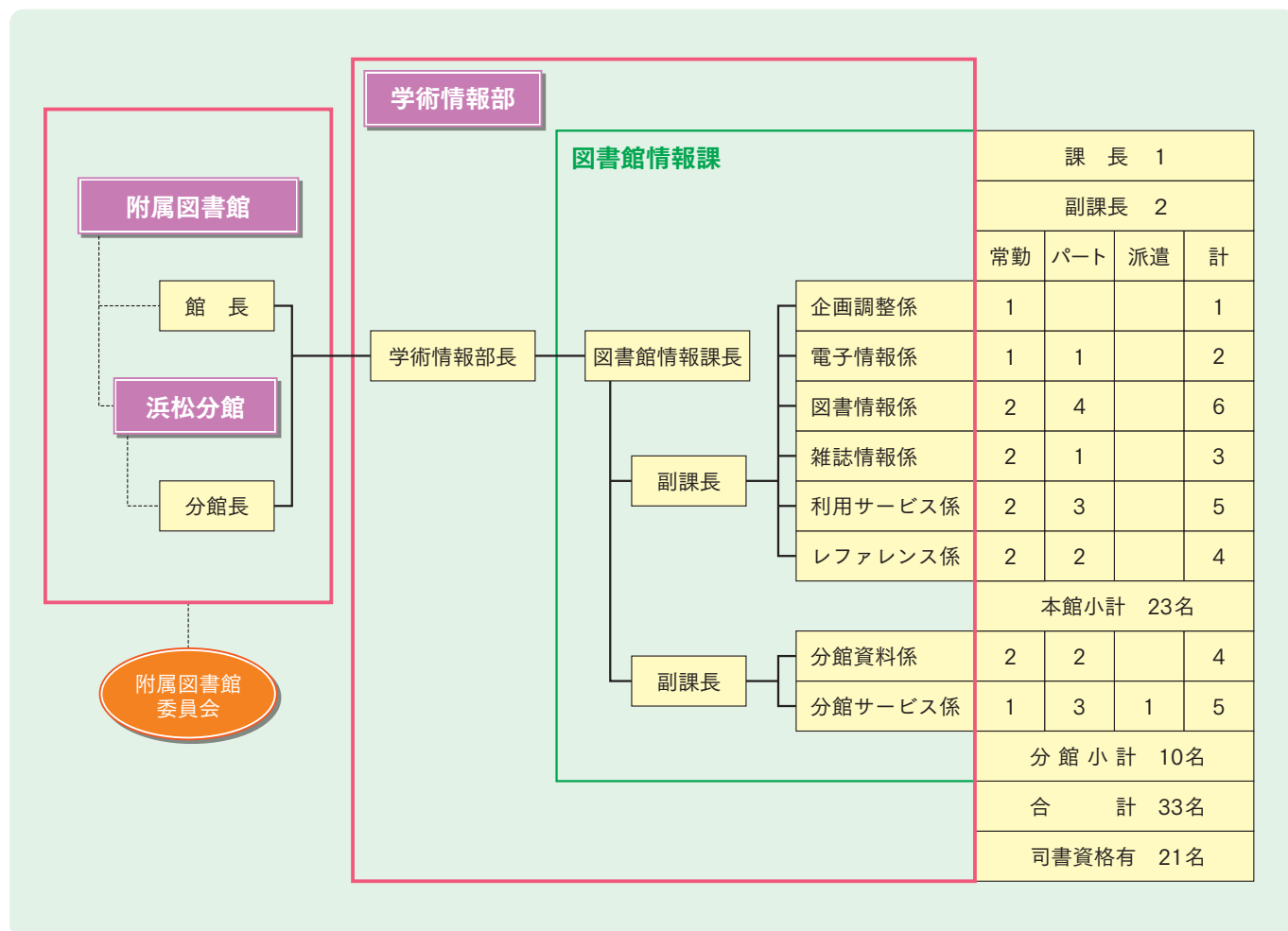
静岡大学附属図書館ホームページ <http://www.lib.shizuoka.ac.jp/>





組 織 機 構

1. 機構図・職員配置 ☆平成29年7月1日現在（実数）



2. 附属図書館委員会委員 ☆平成29年度

所 属	職 名	氏 名	備 考
館 長 （ 農 学 部 ）	教 授	澤 田 均	委員長
浜松分館長（情報学部）	教 授	高 松 良 幸	
人 文 社 会 科 学 部	准 教 授	米 谷 壽 代	
”	講 師	齋 藤 真 希	広報委員会委員
教 育 学 部	教 授	大 宮 康 男	
”	教 授	山 田 耕 三	
情 報 学 部	教 授	宮 崎 真 巳	情報基盤センター運営委員会委員
理 学 部	准 教 授	石 橋 秀 輝	
”	准 教 授	依 岡 幸 勝	
工 学 部	教 授	下 村 勝 光	情報基盤センター運営委員会委員
農 学 部	講 師	沖 田 善 浩	
”	教 授	平 井 浩 文	
法 務 研 究 科	教 授	王 権	情報基盤センター運営委員会委員
法 務 研 究 科	教 授	石 尾 賢 二	
大 学 教 育 セ ン タ ー	講 師	山 本 好 比 古	
事 務 局	学術情報部長	櫻 井 清 隆	



沿革

1. 略年史

年 月	事 項
1949（昭24） 6	◇静岡大学創立（文理・教育・工学の3学部）
11	◇図書館規則を制定し、中央図書館は当分の間文理学部に置き、各学部・分校の図書室は分室とし、図書館運営の協議連絡機関として新たに図書館委員会を設置
12	◇文理学部図書館長が中央図書館長併任（中央図書館職員は事務長1、係員2）
1951（昭26） 4	◇県立農科大学が農学部（磐田）となり、図書館分室を設ける ◇同上分室建築工事竣工
1952（昭27） 4	◇教育学部三島教場の図書館分室を廃止し、教育学部（静岡）分室に統合
1955（昭30） 4	◇教育学部島田分校の図書館分室を廃止し、教育学部（静岡）分室に統合
1958（昭33） 12	◇中央図書館長選考規則を制定
1959（昭34） 9	◇中央図書館・分室を合わせて、附属図書館と改称 工・農・教育学部浜松分校に各分館を設置 事務機構は事務長1、係長3、係員7となる
1965（昭40） 3	◇教育学部浜松分校分館を廃止 ◇教養部西部教場（浜松）に教養部西部分室を設置 ◇附属図書館長が評議会の構成員となる
1966（昭41） 4	◇工学部分館を浜松分館と改称
10	◇附属図書館で教養課程指定図書制度を実施
1967（昭42） 4	◇教養部の大谷地区移転に伴い、臨時図書室（約5,000冊）開設
1968（昭43） 3	◇大谷地区に附属図書館の新館（RC- 5 4,535㎡）が竣工
4	◇教養部西部分室を廃止し、本館に統合
9	◇附属図書館大谷地区に移転
1970（昭45） 1	◇附属図書館の広報誌「図書館通信」を創刊
1972（昭47） 3	◇浜松分館の新館（RC- 2 1,471㎡）が竣工
1973（昭48） 4	◇農学部の大谷地区移転に伴い、農学部分館を廃止し、本館に統合 ◇参考調査係を設置し、4係となる
1977（昭52） 4	◇部課制を実施するとともに受入係を設置、2課5係となる
1978（昭53） 3	◇本館増築（RC- 7 3,061㎡）竣工
1979（昭54） 11	◇本館の時間外延長開館（月～金 20:45、土 16:45まで）を実施
1980（昭55） 4	◇大谷地区各部局の自然系外国雑誌（149タイトル）本館に集中
1982（昭57） 3	◇本館にブックディテクションシステム装置導入
1983（昭58） 3	◇浜松分館増築（RC- 2 1,035㎡）竣工
6	◇浜松分館の時間外延長開館（月～金 20:00、土 17:00まで）を実施 ◇浜松地区自然系外国雑誌（279タイトル）分館に集中
1984（昭59） 1	◇整理課に図書館専門員を配置
3	◇本館の耐震補強工事竣工 ◇本館書庫増築（669㎡）竣工
1986（昭61） 11	◇図書館業務用電子計算機（HITAC L470Xシステム）導入
1987（昭62） 6	◇図書館業務の電算化に対応するため、事務組織を変更 整理課受入係・整理係を廃止して和書係・洋書係とし、新たに学術情報係を設置、2課6係となる
1988（昭63） 4	◇「国立大学および国立短期大学の事務局等の部及び課に関する訓令」の一部改正に伴い、事務部の名称変更
6	◇利用者用コンピュータ端末による図書検索開始（開架全図書及び4月以降の新規受入図書）

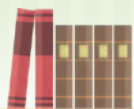
年 月	事 項
1990（平2）3	◇本館視聴覚コーナー（4階）を開設
5	◇情報処理センターとの協力により、学内LANを利用したオンライン学内図書検索システム開始
10	◇本館外国雑誌閲覧室（3階）に無人入退館管理システムを設置、24時間利用可能となる
1991（平3）3	◇本館空調設備工事施工（5階）
4	◇静岡県公共図書館等の資料相互貸借に関する協定に加盟
1992（平4）1	◇本館空調設備工事施工（3、4階）
5	◇完全週休2日制実施に伴う土曜半日（午前）開館
1995（平7）5	◇附属図書館のホームページを開設
1996（平8）3	◇本館地方資料室を移転し、第2閲覧室に模様替
4	◇本館及び浜松分館土曜全日開館実施
10	◇創立50周年記念誌編集室開設（1999年迄）
1997（平9）10	◇本館視聴覚室を改修し、SCSスタジオ開設
11	◇静岡県大学図書館協議会設立、加盟 ◇「幕末・明治期古写真等資料展」開催
1998（平10）3	◇CD-ROMサーバ導入 ◇浜松分館にブックディテクションシステム装置導入
7	◇本館第2閲覧室（ハーベストルーム）にパソコン18台を設置
10	◇事務再編に伴い、事務組織を変更 和書係・洋書係を廃止して資料受入係・目録情報係とし、情報管理課学術情報係をシステム管理係と改称して 情報サービス課に所属
1999（平11）1	◇本館書庫入庫時間延長 ◇「幕末・明治期肖像写真展」開催
3	◇浜松分館AVルーム開設
5	◇博士学位論文要旨のホームページ公開
9	◇国際放送視聴コーナー開設
11	◇「写真展 躍動する静岡大学の50年」開催
2000（平12）4	◇本館開館時間変更（月～金 9:00～22:00, 土 11:00～19:00）（試行） ◇浜松分館自動貸出返却装置導入 ◇本館新入生セミナーで「附属図書館利用セミナー」実施（試行）
2001（平13）3	◇本館自動貸出返却装置導入
4	◇本館開館時間変更（月～金 9:00～22:00, 土 11:00～19:00） ◇浜松分館開館時間変更（月～金 9:00～21:00, 土 9:00～17:00）（試行） ◇本館・浜松分館新入生セミナーで「附属図書館利用セミナー」実施（試行）
10	◇利用学生モニターの設置
11	◇図書館総合整備計画（第一次）－「知と情報のコーディネーター」へ向けて－の策定
2002（平14）2	◇図書館業務用システム（NTTデータ九州 NALIS）導入
3	◇大学閲覧室の閲覧機・椅子の更新および閲覧室床カーペットの張替え等学習環境の整備
4	◇図書館利用セミナーの実施（必修科目として正規の単元化）
10	◇日曜・祝日開館及び土曜時間延長の本格実施

年 月	事 項
2003（平15） 2	◇本館正面玄関の改修
4	◇学外者への館外貸出サービスを開始 ◇浜松分館平日夜間開館時間を1時間延長
2004（平16） 4	◇法人化に伴い、附属図書館事務部は新設の学術情報部として統合 図書館関係2課（情報管理課・情報サービス課）の組織内変更はなし
2005（平17） 1	◇OBオフィス開設
6	◇公開イベント「のぞいてみよう大学の図書館」開催
10	◇課・係制からチーム・スタッフ制へ移行 図書館情報チームとなり、3スタッフ（図書館マネジメントスタッフ、学術資料スタッフ、利用サービススタッフ）で構成
2006（平18） 4	◇図書館情報チームの改組 研究協力・情報図書チームとなり、2課長から1課長2副課長となる ◇静岡県立中央図書館との資料相互搬送開始
6	◇おうだんくん（県内横断検索システム）へ参加
2007（平19） 2	◇図書館業務用システム更新
3	◇自動貸出装置増設
8	◇地域目録講習会（図書コース）開催
9	◇本館第2閲覧室（ハーベストルーム）拡張 ◇「静大図書館 NewsLetter」創刊
11	◇写真展「写真でつづる静岡大学の軌跡」開催
2008（平20） 4	◇静岡大学学術リポジトリ（SURE）本公開 ◇事務再編に伴い、チーム名変更（研究協力・情報図書チームから図書館チームへ）
8	◇附属図書館外部評価委員会開催
2009（平21） 3	◇浜松分館旧機械室に電動書架設置
4	◇入退館管理システム導入
6	◇ライブラリーセミナー「蘇る安部七騎」開催
2010（平22） 4	◇本館リニューアルオープン
2011（平23） 7	◇事務再編に伴い、チーム・スタッフ制から課・係制へ移行 図書館情報課となり、8係（企画調整係、電子情報係、図書情報係、雑誌情報係、利用サービス係、レファレンス係、分館資料係、分館サービス係）となる。 ◇浜松分館改修工事竣工
2012（平24） 2	◇図書館業務用システム（NTTデータ九州 NALIS）更新
4	◇本館・浜松分館開館時間の変更（休日の試験対応期間9：00～21：00）（試行）
6	◇学習支援促進のための三大学連携事業に関する協定を締結（金沢大学、静岡大学、名古屋大学）
2013（平25） 3	◇本館外壁改修工事竣工
4	◇静大ID（学認対応）によるサービス開始（学外からの電子ジャーナル利用、myLibrary）
5	◇附属図書館外部評価委員会開催
2014（平26） 8	◇地域連携プロジェクト「キッズチャレンジ静大図書館」を開催（12月にも開催）
10	◇浜松分館リニューアルオープン
12	◇「静岡大学附属図書館の使命」策定
2015（平27） 8	◇地域目録講習会（図書コース）開催
2017（平29） 2	◇図書館業務用システム（NTTデータ九州 NALIS）更新

2. 歴代館長・分館長

附属図書館長	氏 名	所 属	在 任 期 間
	富田文雄	文 理 学 部	1949.12.12～1952.12.11
	大河内貞一郎	”	1952.12.12～1954.12.11
	山田良之助	”	1954.12.12～1958.12.11
	山岸五平	学長（事務取扱）	1958.12.12～1959.8.31
	島谷俊三	教 育 学 部	1959.9.1～1961.8.31
	宇野慶三郎	”	1961.9.1～1963.8.31
	内藤晃夫	教 養 部	1963.9.1～1965.6.30
	兼岩芳夫	人 文 学 部	1965.7.1～1967.6.30
	天野佳人	農 学 部	1967.7.1～1969.6.30
	石塚経雄	人 文 学 部	1969.7.1～1971.6.30
	上野実朗	教 養 部	1971.7.1～1973.6.30
	中沢正寿夫	教 理 学 部	1973.7.1～1975.6.30
	渡辺安夫	教 育 学 部	1975.7.1～1977.6.30
	豊川卓爾	教 養 部	1977.7.1～1979.6.30
	細井寅三郎	人 文 学 部	1979.7.1～1981.6.30
	大中卓郎	農 学 部	1981.7.1～1983.6.30
	村口博保	工 学 部	1983.7.1～1985.6.30
	森口治生	教 理 学 部	1985.7.1～1987.6.30
	水野秀夫	農 学 部	1987.7.1～1989.6.30
	吉本健康	教 養 部	1989.7.1～1991.6.30
	小澤康彦	人 文 学 部	1991.7.1～1993.6.30
	久保靖一	工 学 部	1993.7.1～1995.6.30
	杉田泰一	教 理 学 部	1995.7.1～1997.6.30
	浅井哲一郎	教 育 学 部	1997.7.1～1999.6.30
	大江泰一郎	理 学 部	1999.7.1～2001.3.31
	大場公雄	人 文 学 部	2001.4.1～2003.3.31
	小和田哲男	農 学 部	2003.4.1～2005.3.31
	加藤憲二	教 理 学 部	2005.4.1～2007.3.31
	高松良幸	情 報 学 部	2007.4.1～2013.3.31
	澤田均	農 学 研 究 科	2013.4.1～2015.3.31
		領 域	2015.4.1～

浜松分館長	氏 名	所 属	在 任 期 間
	市川常男	工 学 部	1965.4.1～1976.3.31
	松本欣二	”（事務取扱）	1976.4.1～1976.4.30
	井本文夫	”	1976.5.1～1980.3.31
	大月卓郎	”	1980.4.1～1983.6.30
	藤田郁夫	”	1983.7.1～1987.6.30
	大田襄夫	”	1987.7.1～1989.6.30
	藤田郁夫	”	1989.7.1～1991.6.30
	清水孝仁	”	1991.7.1～1995.6.30
	石井邦夫	”	1995.7.1～1997.6.30
	渥美静夫	”	1997.7.1～1999.3.31
	岡村致宏	”	1999.4.1～2001.3.31
	鎌田哲朗	情 報 学 部	2001.4.1～2003.3.31
	市川享彦	工 学 部	2003.4.1～2004.3.31
	野飼正彦	”	2004.4.1～2005.3.31
	雨中宮伸治	情 報 学 部	2005.4.1～2009.3.31
	中島良幸	工 学 部	2009.4.1～2011.3.31
	高松宏信	情 報 学 部	2011.4.1～2013.3.31
	梅本良	工 学 研 究 科	2013.4.1～2015.3.31
	高松良幸	情 報 学 領 域	2015.4.1～



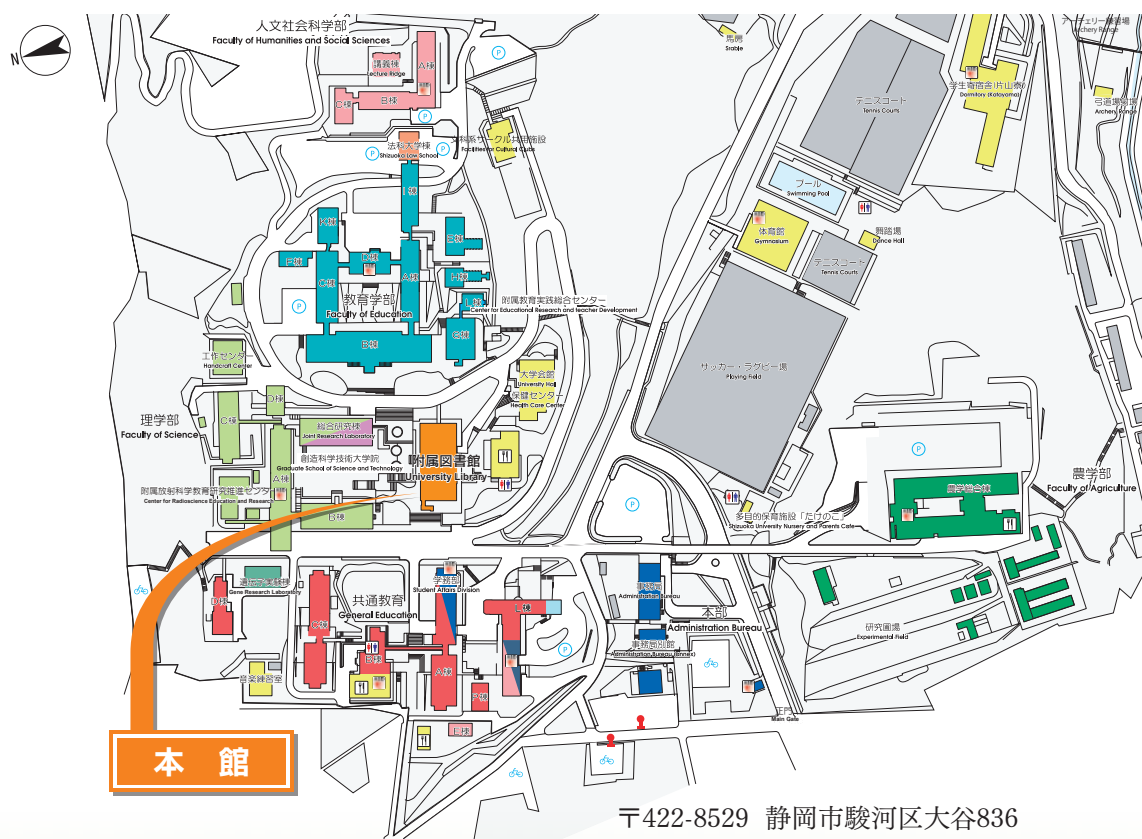
交通案内・図書館位置図

■ 静岡キャンパス交通案内



JR 静岡駅北口のしずてつジャストラインバス 8 B 番乗り場から美和大谷線「静岡大学」行き、「東大谷」（静岡大学経由）行き、「ふじのくに地球環境史ミュージアム」（静岡大学経由）行きに乗車し「静岡大学」又は「静大片山」で下車。美和大谷線「東大谷」（静岡大学を経由しないもの）行きに乗車した場合は、「片山」で下車。（所要時間 25 分、1 時間に 5 ～ 7 本運行）

■ 静岡キャンパスマップ



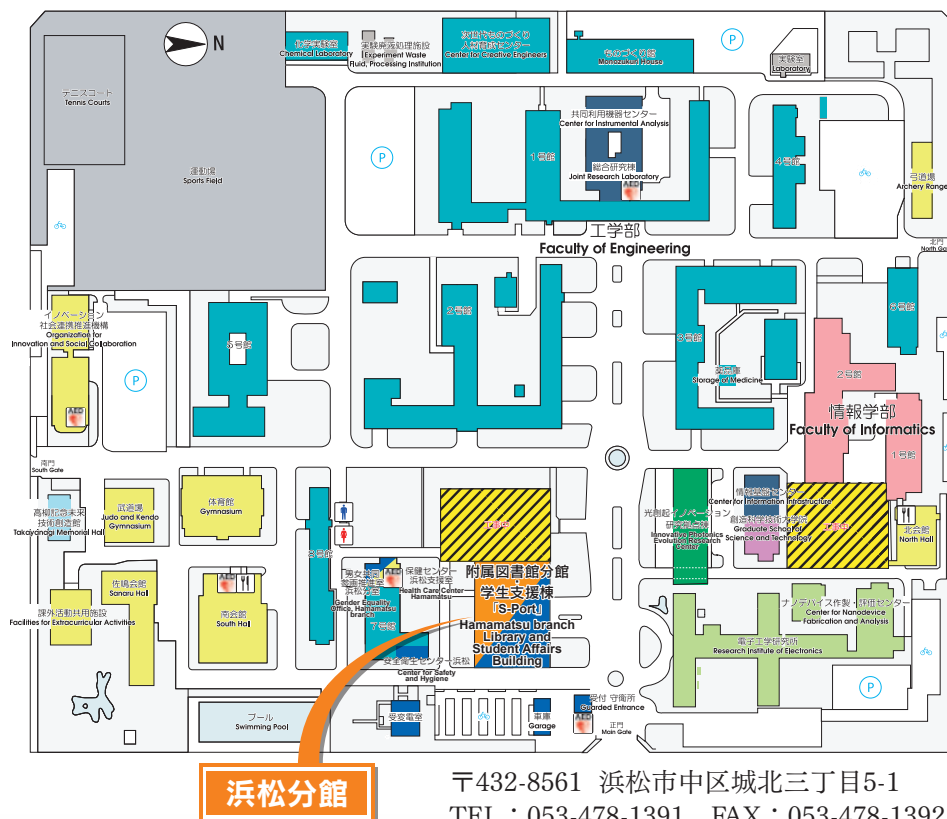
〒422-8529 静岡市駿河区大谷836
TEL : 054-238-4474 FAX : 054-238-5408
E-mail : tosyokan@adb.shizuoka.ac.jp

■ 浜松キャンパス交通案内



JR 浜松駅北口バスターミナルの遠州鉄道バス 15 番又は 16 番乗り場から乗車し、「静岡大学」下車
(所要時間約 20 分、1 時間に 10 本程度運行)

■ 浜松キャンパスマップ



〒432-8561 浜松市中区城北三丁目5-1
TEL : 053-478-1391 FAX : 053-478-1392
E-mail : lib-hama@adb.shizuoka.ac.jp

出会いと学び

附属図書館浜松分館長
高松 良幸



静岡大学附属図書館浜松分館が2014年にリニューアル・オープンを果たして、間もなく3年になります。

このリニューアル・オープンは、本学が永年計画していた「Students' Port構想」に基づくもので、同じ建物の中に事務部門、図書館を置くことで、学生の事務手続き、学生に対する学術データの提供などのサービスのワン・ストップ化を図るとともに、図書館におけるラーニング・コモンズ機能の充実化を図ることで、学部・学科などの壁を越え、さまざまな学生が集い、出会い、語り合うスペースを提供することを意図したものでした。「S-Port」の愛称も定着しつつあるこの建物は、構想が目指す「学生の港」としての役割を担い、今日も多くの学生が、ラーニング・コモンズ・スペースを利用しています。

さて、この「Students' Port構想」、実は2014年のリニューアル・オープンは第1期工事に当たるもので、老朽化した浜松分館本館を建て直す第2期工事で完結するものです。この第2期工事は2016年度補正予算により着工が認められ、現在その工事に入っています。

2014年のリニューアル・オープン以降、新装のS-Portと従来の図書館の建物を渡り廊下で結ぶなど、変則的な利用形態のままの使用をお願いしておりましたが、1年後には、第1期の建物と第2期の建物が一体のものとなって「Students' Port構想」の完成した姿をお見せすることができる予定です。工事期間中は騒音や書庫内での図書の閲覧をお願いするなど、利用者の皆さま方にはさまざまなご迷惑をおかけしますが、ご寛恕を賜りますとともに、1年後の完成を楽しみにお待ちしております。

さてこの第2期工事で完成する建物は、利用者に図書を中心とする各種学術データを提供し、利用者は静かな環境の下でそれを閲覧し、自習するという大学図書館本来の機能を重視したものです。浜松分館は、多くの人々の「出会い」の場と、大学における「学び」の場の機能を並立することで、より多くの利用者のさまざまなニーズに応えて行きたいと考えております。同時に利用者の皆さま方からは、新しい図書館に対する新しいニーズの積極的なご提案をお願いしたいと思っております。

静岡大学附属図書館概要 2017

平成29年7月発行

編集・発行 静岡大学附属図書館

〒422-8529 静岡市駿河区大谷8 3 6

Tel : 054-238-4474

Fax : 054-238-5408

URL <http://www.lib.shizuoka.ac.jp/>